

勿来工業高等学校建築科OB会

<http://nakoso-ob.com/>

事務局だより

No.	行事名	日付	場所	参加者
1	会計監査	2018年4月8日	千葉良司宅	3 名
2	幹事会	2018年4月25日	労働福祉会館	8 名
3	総会	2018年6月23日	いわきワシントンホテル	37 名
4	幹事会	2018年10月24日	労働福祉会館	9 名
5	新年会	2019年2月2日	ホテル ミドリ	13 名
6	設計コンペ審査会	2019年2月16日	労働福祉会館	6 名
7	同上表彰式	2019年2月28日	勿来工業新校舎会議室	6 名

発行日
平成31年
3月31日
第 25 号

発行所
いわき市石森二丁目1-13
事務局 千葉良司
TEL 0246-35-0631
FAX 0246-35-0632

発行者
勿来工業高等学校
建築科OB会
会長 千葉良司

*****No.1会計監査*****

平成30年4月8日（日）9：00～10：00

千葉良司宅（いわき市石森）

小林仁	5	千葉 良司	10	佐藤則之	30
-----	---	-------	----	------	----

OB会役割担当、会計監査・小林仁さん、会計・佐藤則之さん、会長（千葉良司）3人で上記の場所、日程で会計監査を行いました。現金出納帳を提示し、繰越金を29年度総会資料の決算書で確認し、整合していることを確認するところから始めました。領収書番号、勘定科目、日付、取引項目、適用、収入、支出、残高の順に列が構成された現金出納帳はA4用紙1ページ分で収まる表となりました。繰越金（137,049円）を含めた収入から支出を引いた残高が38,872円となり繰越金との差額98,177円が減ったことになりました。現金出納帳の領収書番号と実際の領収書を照合して、金額の整合を確認しました。それを勘定項目毎に仕分けした仕訳表を見ながら総会冊子の決算報告書に

転記したものを確認しました。収入の部では、新入会員55回生からお預かりした、185,000円。来賓等の総会時の協力金32,000円。企業・個人からの寄付金、86,000円。利息11円。合計303,011円が集まりました。支出の部では、殆どが予算内に収まりましたが、3項目が予算を超みました。その一つが、設計コンペの支出です。10万円の予算に対して32,000の増額になりました。これは、在校生が大阪芸術大学グループ主催のコンペに参加し入選者が勿工の生徒に該当し、授賞式のための旅費の一部を助成したことによるものでした。また対外費の予算2,000円に対し、支出30,520円は、富樫先生が昨年暮れにお亡くなりになりその香典と生花の代金でした。主だった増額はこの2項目でした。そして予算に対する決算は13,177円増額となりました。入金や出金の流れを見て感じることがありました。会員のほとんどの方は、年に1度の総会参加です。これには毎年40から50名が参加して頂いています。そして懇親会費を納め、また総会参加者の半数の方がその場で寄付行為をしていただいている。学校側からは毎年、卒業時に卒業予定者から在学中

に預かった終身会費がOB会に入金されます。このような会費と寄付行為によってOB会は成り立っていることを実感する会計監査の時期でもあります。感謝いたします。

****No.2幹事会****

平成30年4月25日（水）18：00～20：00

いわき市平労働福祉会館3階

北郷 哲夫 3	小林仁 5	嵐 繁雄 6	福富 大祐 7
千葉 良司 10	渡辺 久 11	高原 典宏 14	四家 康正 21

幹事会会長の挨拶 10回生千葉良司

本日はOB会幹事会にお集まりいただきありがとうございます。今日の幹事会は、6月に開催される総会についての内容の確認です。事務局長の四家さんが総会資料を読み上げて場所、日程、時間、当日の役割分担、行事、決算、予算を資料で確認して頂きます。学校側は建築科長だった佐藤聖さんが会津工業高校へ赴任され、新たに平工業高校から転任された山野辺幸喜様が科長になったようです。教頭先生も一人入れ替わりました。また2月末には、役員5名が学校へ行き入会式を行い37名が新会員となりました。進学者14名、就職者21名、未定2名と伺っております。4月8日には会計監査を行いましたが、新入会員より各5千円を預かり、OB会員からも寄付が集まり、貴重な運営資金が得られました。感謝したいと思います。幹事会でいろいろ検討して頂き、了解が得られま

したら55回生までの幹事に通知するための資料作成をして、1ヶ月後に幹事へ郵送します。そして6月23日に総会となるわけですが、それまでの期間を私たちが総会の参加を呼びかけ、多くの会員が参加できるように努力したいと思います。それでは事務局長に進行をお任せします。

幹事会報告 千葉良司

四家事務局長は、幹事会の進行役をしながら、総会冊子の内容の確認のため、資料を読み上げていきました。表紙を読み上げ、開催年度、回数、場所、日時を確認し、また会場の予約は完了しているかを確認しました。1ページは総会の役割分担で、この日出席している役員に役割のお願いと了承を得ました。2ページは事業報告を読み上げて了承。3ページは決算報告。4ページ会計監査報告、事業計画を読み上げ了承。5ページは予算で前年度と今年度の比較表の数値を読み上げ了承して頂きました。平成30年度、第26回総会の議案にする全ての検討、確認を終了しました。また総会の懇親会に招待する方を確認しました。校長、教頭、建築科の先生方、同窓会長を招待する予定です。この幹事会終了1ヶ月後に総会案内の通知を発送しますがその準備と発送作業の日程・場所等を確認しました。約2時間にわたる総会開催の話し合いを行い、幹事会を閉会しました。



*****No.3総会*****							
平成30年6月23日（土）17：00～20：00							
いわき市平 いわきワシントンホテル							
来賓	勿工教頭 田畠 淳様		勿工教頭 池田光治様				
	勿工建築科長 山野辺幸喜様		勿工同窓会長 鈴木祐一様				
北郷 哲夫	3	篠崎 良司	3	鈴木 茂信	4	高杉 吉正	4
渡辺 忠敬	4	嵐 繁雄	6	高橋 貞徳	6	石山 圭一	7
志賀 利光	7	福富 大祐	7	鈴木 俊美	10	佐藤 政春	10
鈴木 秀明	10	蘭部 好正	10	千葉 良司	10	村谷 徹	10
猪狩 孝	11	渡辺 久	11	安齋 健治	12	石川 利幸	12
佐藤 敏男	12	峯村 康三	12	高原 典宏	14	遠藤 誠	18
佐藤 博史	18	鈴木 忍	18	緑川 章	18	渡辺 法広	18
志賀 正敏	20	四家 康正	21	橋本 浩喜	25	初瀬 雅洋	33
上遠野莉久	53	来賓4名、OB生33名、合計37名					

総会報告 千葉良司

年に1度の総会の日がきました。役員は総会開始時間より1時間前に会場に到着し準備作業に取りかかっていました。

昨年の総会で承認されて、1年が経過したこの日が実際の新役員の働きの成果を披露する時でもあります。新事務局長となった21回生の四家康正さんがいろいろな準備に追われた1ヶ月を過ごしたことになります。受付は会計担当で25回生の橋本幸喜さん、もう一人の会計担当で31回生の佐藤則之さんは、都合悪く欠席となり、18回生の鈴木忍さんが受付の補助員となり、会場に集まつくる会員の対応に追われていました。受付時に懇親会費として会員から6千円を預かります。執行部側からは、A4サイズの封筒を会員に渡します。その中身は、出席者名簿、総会資料、事務局だよりの3種類が入っています。出席予定者は来賓を含めて39名です。来賓の方への総会通知には会費の請求は無しにして、ご招待としました。結果としての出席者の人数は、2名欠席の37名となりました。来賓の皆様には、ご招待ではありますが、ご祝儀を頂きました。昨年の参加人数は40名でしたので3名の減となりました。昨年と今年の参加者の顔ぶれをみると昨年より3名減少ではありますが、昨年参加していて今年参加していない人が12名、昨年不参加で今年参加が9名おりました。3分の2は常連であり3分の1が新しい動きが見られた出席状況の総会となりました。午後5時より18回生

の鈴木忍さんの司会により総会が開始されました。新会長となった私（千葉良司）が総会の挨拶を行い、続いて議長である渡辺久さんの通常総会開会宣言を行って議案の審議に入りました。1号から4号議案を資料に基づいて読み上げ、確認していただき会員全員から了承を頂きました。そして議長による通常総会閉会宣言によって無事総会を閉会することができました。



OB会 会長
総会挨拶
10回生 千葉良司

本日は、勿来工業高校建築科OB会総会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。1年1年歴史を積み重ねてまいりまして、今年で26回目となりました。多くのOB会の皆様にご理解いただき、ご協力のもと今日を迎えることができました。勿来工業は今年の春に55回生37名の卒業生を送り出し2,106名のOB会組織となりました。入学された時の目的は、皆さん建築の仕事がしたいとの思いがあったと思います。現実には建築の道を歩まなかったOB生もたくさんいると思いますが、総会に出席される多くの方は建築に関わったお仕事をされているように思います。このOB会は、卒業生全員建築に関わろうが関わるまいが参加を歓迎する会であります。いわき市内を車

で走っておりますと、いろいろな建設現場を目に入れします。少し前までの現場はクレーン車が主流でありましたが最近は、タワークレーンを設置した現場が多く見かけるようになりました。例えばいわき市立共立病院は、今完成に向けて進んでおりますが、電気技術者だけで500人が動いていると聞きました。同じタイミングで小名浜玉川に建設中の国立病院機構のいわき病院も建設技術者が集まり、また常磐共同火力でも大きな建物が複数棟建つようあります。町中では、平の一ニ三屋の隣に15階建てのマンションが立ち、ここワシントンホテルの前にもマンション建設、ヨーク堂の隣にも14階建てのマンションが外部足場を取り扱う時期のようです。また平商業高校の前には120区画の住宅地の造成工事が行われている最中であります、まさにいわきは建設ラッシュのようです。今月15日には小名浜にオープンしたイオンモールがいわきを活性化させ始めたようですが、それに伴う高速道路の増設工事が進められているようです。大きい小さいにかかわらず、建設業界に潤いをもたらせる今日この頃でありますが、その様々な現場に勿工建築科OB生が活躍させていることと確信しております。さて、昨年の総会で役員が変わり、会長として今年初めてこの壇上から挨拶することになった訳ですが、まだなじま

ないOB会会長の顔に我慢して頂きたいと思います。OB会の所信を述べる場ではありますが、限られた時間の中で私の思いをお伝えすることは難しいと思います。今回皆様の手元に事務局だよりを同封しておりますが、そこに私の思いを掲載しました。6ページまでは行事の報告ですが、7ページ以降はわたしの呟きです。富樫先生がお亡くなりになってしまったこと。富樫先生のお宅へ訪問したこと。60歳を過ぎて資格試験に挑戦した体験談。初めて富士山に登った登山の様子。ゴルフの知識が全くない私のゴルフコンペの取材文を掲載し、最後にOB会に対する私の思いを書いてみました。仕事で皆さんと関わった経験もなく、皆さんにとって私がどんな人間かも分からぬ中での会長職です。読んで頂ければ私がどんな人物なのか理解して頂けるかもしれません。1年かけて仕上げた事務局だよりです。どうか捨てないで1年がかりで最後まで読んでください。これから始まる総会よろしくお願いします。

懇親会報告

午後6時からは懇親会となりましたが、会場が総会の時使用した会場ではなく、普段ボンジュールという名称で営業しているレストランに移動となっての懇親会となりました。4つの円卓が並べられ1テーブル当たり約9名分の椅子が準備されていました。司会

は12回生の佐藤敏男さんが行いました。会長挨拶があり、欠席の校長先生のメッセージを司会者が読み上げた後、来賓4名（教頭2名、建築科長、同窓会会长）のご祝辞を頂き、乾杯を直前会長の福富大祐さんが行い30分経過して懇親会が開催されました。2時間という予定の懇親会はあっという間に過ぎ、通例の勿工校歌と建築科応援歌を皆で合唱しました。中締めは4回生で元OB会会長の高杉吉正さんが行いました。「OB会の益々の発展と本日ご参集頂きました皆様の益々の発展とご健勝を祈願いたしまして1本締めで参ります。よおおパン。ありがとうございました。」

会長懇親会挨拶 10回生千葉良司

先ほどの総会では、議案の審議にご協力頂き、OB会員の皆様のご賛同を得ることができました。これにより今年もまたOB会の新年度としてスタートするができました。慎重審議誠にありがとうございました。来賓の皆様にも参加して頂き、建築科OB会の活動の様子がこの日だけで感じて頂ければ幸いです。田畠教頭先生、今年県立高校改革室より来られた池田教頭先生、同じく平工業から来られた山野辺建築科長、そして約7年ぶりかと思いますが当時勿工のPTA会長としてこのOB会へ出席して頂いた鈴木祐一様が今年は同窓会会长として出席して頂いてお

ります。お忙しいところ誠にありがとうございます。また昨年まで毎年欠かさず参加して頂いていた、富樫要次さまが昨年の暮れにお亡くなりになり、大きなOB会のシンボルでもあったのにここにいないのがとても寂しい思いです。今回皆様の手元にある事務局だよりの8ページに先生の告別式と、私が個人的に先生宅を訪問して日記にしていたものを掲載しました。その中で「俺が元気なうちは、総会と新年会には必ず出席するからな」と言っていた言葉が印象的で最後まで私たちを見守ってくれました。鬼と呼ばれながらも優しくそして偉大な先生がここにいないのが残念です。ご冥福をお祈りいたします。

さて今春卒業の第55回生は37名います。建築関係の進学者10名、就職が15名、37名中25名が建築関係の進路を選んでおります。いわきの就職先としては、勿論OB生が社長であるとか、管理職にいる会社が多く見られます。嵐設計さん、加地和組さん、クレハ錦建設さん、常磐開発さん、福浜第1建設さん、三崎組さん、山木工業さん等が今年の卒業生を受け入れた地元企業であります。新入生となった建築科の卒業生がOB生のいる先輩たちに面倒を見てもらいながら成長していく姿を想像すると、このOB会の繋がりが貴重で大事な物であることを実感いたします。卒業生を受けいってくれた事業

所に感謝申し上げます。どうか新入生を未永く採用されて事業所になくてはならない存在に育てていってくれることを期待いたします。今日の懇親会を楽しみたいと思います。ありがとうございます。

勿工 校長 富樫実様 ご祝辞

拝啓 この度は、勿来工業高校建築科OB会平成30年度第26回総会を開催されまこと誠におめでとうございます。今年で四半世紀を迎えるこの会の存在意義は本校にとりましても大きなものであります。また、日頃より本校及び本校建築科へのご理解とご支援賜り深く感謝申し上げます。また、私事ではありますが昨年末の父の葬儀に際しましては、ご多忙中にもかかわらず多くの卒業生の皆様に、ご会葬を頂き重ねて御礼申し上げます。さて、先日当総会のご案内を頂きまことにありがとうございました。しかし6月22日から24日まで東北高等学校空手道選手権大会が秋田市で開催され大会役員として出席しなければなりません。本来ならば、総会に出席させて頂き、直接OBの皆様に本校の現状や父の葬儀に関して御礼を申し上げなければならないのですが、参加することが叶いませんこと、お許しください。今年の建築科3年生も、進路実現に向けて動き始めました。建築関係に就職を希望する生徒や、専門性を追求すべく進学を希望する生

徒もあります。私たち教員は生徒ひとり一人の目標達成のために教育的な立場から指導していくことが使命だと思っております。OBの皆様からも卒業設計コンペや表彰式・OB会入会式等の折に、ご指導ご鞭撻を頂けますようお願いいたします。 結びに、貴会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、御礼といたします。

平成30年6月23日

勿来工業高校建築科OB会会長千葉良司 様

勿来工業高校 富樫 実



勿工 教頭
田畠 淳様
ご 祝 辞

今年のOB会総会開催、誠におめでとうございます。昨年本校に戻って参りました、今年で二年目となりました。昨年私事で三ヶ月間休職させて頂きましたが、足の手術を行いました。本校にとっていい働きができたかという反省すべきところがあります。手術が終わり今年は満足のいく活動をするつもりであります。昨年の就職は好調でありまして希望する生徒は100%就職ができました。何よりも第1志望の就職先に一発合格が生徒たちにとっても一番の成果だったと思います。建築科の生徒の中にはアメリカに渡ってダンスをしたいという希望を持った変り種もありましたが多くの生徒が建築の道につき

まして、施工会社、または設計事務所、大工職人といった多彩な進路につきました。そちらを支えている業者の皆様に感謝を申し上げます。学校の方に目を転じてみると、建築科はダビンチコンテストに参加して入選いたしました。またマイコンカラリーには全国大会に出場しました。部活動については、空手道、ウエイトリフティングが東北大会に進んでいます。また久方ぶりに弓道が全国大会に出場することになりました。本校のホームページは更新頻度が盛んですので、時々訪れて頂いて、学校の様子を見て頂ければ幸いかなと思います。OB会の方々には日頃より設計コンペなどでお世話になっておりますが今後ともよろしくお願ひしたいと思います。話変わりまして、菊田会館の後に立つ※ブロック塀が建築基準法に違反しているところで今後対応に追われるようになると思います。そんな問題もありますが職員一丸となって頑張って参りますので、是非ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。今日はお招き頂きましてありがとうございました。

※ブロック塀の建築基準法違反の解説

大阪府北部で6月18日午前、最大震度6弱を観測する強い地震がありました。その地震によって高槻市の小学4年の女児が登校中に倒れてきた学校のプールの壁の下敷きな

って死亡したという報道があり、その後全国規模でブロック塀の調査を行ったようです。建築基準法施行令第61条「組積造のへい」として高さ、壁厚、控え壁設置、基礎の根入れ深さの規定がある。



勿工 教頭
池田光治様
お祝辞

県立高校改革室という役所より今年の4月から赴任しております。OB会総会、誠におめでとうございます。日頃より本校教育活動に多大なるご支援頂戴しておりますこと深く感謝申し上げます。私の専門は、高校化學ですが、建築の素晴らしいと思っているところ2点述べたいと思います。建物の店舗を使う方の顔がすごく近く見えるお仕事で、自分のした仕事に対して感謝されたりとか、嬉しそうにその建物を使っている顔を直ぐに見れるのが建築家の素晴らしいところだと思います。2点目は、一国一城の主(あるじ)になれる可能性が非常に高い学習内容であるというのが非常に羨ましいと思っております。勿論厳しい世界での自分の実力で戦わなければならぬわけありますが素晴らしいなと常日頃から考えております。本校の生徒たち、先ほどの田畠教頭先生よりお話がありましたように、新聞報道されておりますが非常に負荷になっております。先輩方の背

中を追いながら今後とも頑張りますので我々教職員、一丸となって支えて参ります。OB会の皆様からも今後とも変わらぬご指導、ご助言を賜ればと考えております。本日はありがとうございました。



勿工 建築科科長
山野辺幸喜様
お祝辞

ご紹介ありましたとおり今年4月から工業高校土木科からこちらの建築科に赴任して参りました。OB会の皆様が毎年本校の卒業設計コンペの審査員、またその作品をまとめた冊子の作成、更にはコンペの授賞式、また遠征のための交通費の援助と様々本科の教育活動に際しましてご理解、ご協力頂きまして本当に厚く御礼を申し上げます。私からは一番現場に近いところで生徒が頑張っている一面を報告させて頂きます。去年の6月から取り組んでいた中央校学校のコンペクションに当時の1, 2年生が応募し審査待ちでした。今年4月10日にその結果がHPで発表になりました。現在3年生の女子生徒が全国843作品の応募の中で2番目の賞の優秀賞を獲得いたしました。更には、実質4番目の賞になるのですが佳作に1名、同じく3年生の男子生徒が14番手になると想います「奨励賞」に入選いたしまして3名入選を果たすことができました。現在3年生

は感性豊かな生徒が多く、本校の建築科112名おりますが、我々6名の建築科の教職員が彼らの将来に向けていい出口を導いていく所存であります。先輩方の変わらぬご支援、ご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。本日はお招き頂きまして誠にありがとうございました。



勿工 同窓会会長 鈴木祐一様 お 祝 辞

高瀬様から引き受けました同窓会会長の鈴木祐一です。どうぞよろしくお願ひします。本日はOB会総会まことにおめでとうございます。また懇親会にお招き頂きまして大変嬉しく思っております。PTA会長をしていたときにこの会に出席させて頂いたことがあります。その時は、富樫先生が元気で、先生のまわりに皆さんが集まってお話をしていたのを見ていた記憶がございます。富樫先生を中心にして集まってくれることに羨しさを感じおりました。また本日皆様のお顔を拝見しますと、同窓会の理事会、総会と同じくらいの人数が出席されていると思います。本当に建築科の絆の深さを改めて思い知らされます。富樫先生お亡くなりになってしましましたが、皆さんの絆でこの会をもっと盛り上げて頂きたいと思います。同窓会の方も盛り上げるように微力ではござい

ますが、頑張ってみたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。最後に前会長の高瀬さんから皆様によろしくお伝えくださいということでお伝えしたいと思います。ありがとうございました。



OB会直前会長 7回生 福富大祐さん 乾杯

富樫先生のお話が随所で出て参りました。本来この乾杯は富樫先生がやるのが恒例で私などではまだ不足ですけれども富樫先生の偉大なスピリットを学びまた忍んで乾杯してみたいと思います。皆さんのご健康とそれから偉大だった富樫先生の感謝を込めて乾杯いたします。それでは乾杯。全員も乾杯





*****No.4 幹事会*****

平成30年10月24日（水）18：00～20：00

いわき市平労働福祉会館3階

小林 仁	5	嵐 繁雄	6	福富大祐	7	千葉良司	10
鈴木秀明	10	渡辺 久	11	峰村康三	12	高原典宏	14
四家康正	21						



会長 幹事会 挨拶 10回生 千葉良司

本日はお忙しい中幹事会にお集まりいただきましてありがとうございます。いつもの役員メンバーに加えて、10回生の鈴木秀明さんと12回生の峰村康三さんが出席してくれました。鈴木さんは6年前に飛島建設を退職され、東京を離れいわきに戻りOB会総会には5年連続で参加されています。来年度から幹事のメンバーに加えてOB会の発展に協力していただきます。峰村康三さんは現在清水建設に従事しておりますが、12回生の総会参加に協力を頂いております。本日の幹事会は9名で話し合いたいと思います。最近の話題を考えると、アメリカの大統領がアメリカ第一主義を唱え、経済が混乱しています。日本の総理は3選目を達成しリーダーシップを發揮しております。日本は異常な自然災害が発生し、あちらこちらで甚大な被害をもたらし、日本経済の将来が心配です。勿工建築科OB会は四半世紀をこえた歴史を作りました。先日「街コン」を見学に行って思つたことは、実行委員会が頑張っていました。このシステムをOB会が活用できれば少しだけ発展できるだろうと考えました。本日の幹事会は、総会の反省点についての話し合い、来年総会に向けての役員改選の提案、今年の今後の行事の日程と内容の確認などを話し合う予定です。最後まで活発な意見交換ができると思います。よろしくお願いします。

幹事会報告

幹事会を開くに当たって事務局より以下の資料が準備されました。

1. 幹事会レジュメ
2. 過去5年分総会参加者一覧
3. 30年度参加者一覧
4. 30年度執行部一覧
5. 31年度執行部（案）一覧
6. 31年発行予定事務局だより途中まで
7. 30年度総会来賓のお話のまとめ

以上の資料を元に四家事務局長の進行で幹事が行われました。議題の1番目、総会の反省点について事務局及び私から報告がありました。参加者39名予定で出席者37名でした。4名の来賓が含まれています。私から懇親会で来賓がお話しされた内容をまとめて紹介しました。スピーチまとめは省略レジュメの議題に入ります。

次年度役員改選について作成した案を元に意見が交わされました。変更を希望する大きな点は、会計係の役割についてです。現在31回生の佐藤則之さんが普通預金と現金を管理しています。問題点は、佐藤さんが預金の出金などを行う際に平日、郵便局へ行く時間が取れず悩んでいることについて相談を受けました。自由時間が取れてOB会に精通している人に任せたい旨を提案しました。元会長の福富さんに監査になってもらい、預金

と現金の管理を提案しました。郵便局であるメリットは、会員からの寄付などによる振り込みに対する手数料が安いことが上げられました。しかし最近は、振込票による行為が行われておらず、手数料の安さに対するメリットは考える必要がなくなりました。銀行口座を新設することが提案されました。福富さんがお金の管理を引き受けてくれる方向で進み、前会計の佐藤さんと摺り合わせをお願いするようにしたいと思います。新年度役員リストについては、会員の選出と役割を明確にして、次回の幹事会（新年会）にまとめて再提案することになりました。

鈴木秀明さんから「毎年設計コンペ審査会をしているようですが私たちも在校中に3年間の集大成として設計図を作成しました。今の生徒たちが作成している作品がどのようなものか拝見できればいいのですがどうすれば見ることができるでしょうか。」というご要望がでました。これに対して「作品集として冊子にしてまとめて表彰式に生徒には渡しています。しかしOB会員には一部の会員以外は、それを見る機会がないのが現状です。作成した冊子を総会時に持参して拝見していただくようとするか、他にいい方法があるか検討したいと思います。」と対応しました。今回の幹事会以降の行事について確認をしました。新年会の会場と時間と会費を提

案し会場予約を嵐さんにお願いしました。設計コンペ審査会について日時、場所を決定し、審査員に集合してもらうことにしました。また作品を見たい方は自由に会場へ集まっていただくように伝えました。話し合いの主な内容は以上です。来年の総会に向けて動いております。

*****No.5 新年会*****

平成31年2月2日（土）17：00～19：30

いわき市植田町 ホテルミドリ

小林 仁	5	嵐 繁雄	6	福富大祐	7	志賀利光	7
千葉良司	10	渡辺 久	11	佐藤敏男	12	高原典宏	14
鈴木 忍	18	志賀正敏	20	四家康正	21	鈴木正美	21
橋本浩喜	25			13名出席			

新年会報告 10回生 千葉良司

まとまった雨や雪が何日も降らず乾燥した日が続き、火災が発生したり、インフルエンザが流行している今日この頃です。平工業高校はインフルエンザの影響で学校閉鎖という措置がなされているようです。2月2日は風も弱く晴れた穏やかな天気に恵まれたOB会新年会となりました。いわき市植田町のホテルミドリでの会場設定に、事務局長が幹事（約100人）へ連絡し参加者は13人となりました。和室の畳の部屋に対面式に並べられた座卓に座布団が準備され、席順など気にせずに到着した会員が席を選んで胡坐をかき13名が揃い新年会の準備が整いました。四家事務局長の進行により新年会が開催され、会長の挨拶の後に事務局長が準備し

たレジュメを元に今年の行事の確認などを行いました。直近では設計コンペ審査会と表彰式・入会式が待ち受けています。挨拶や事務連絡などを15分ほど掛けて行い、嵐繁雄さんの乾杯のあいさつで新年会がスタートしました。お酒は飲み放題。献立は鍋料理をメインに約10種類の料理が後から後から運ばれてきました。牡蠣・ホタテ・椎茸・シメジ・白菜・春菊・ネギが入った鍋を沸騰させたところに刺身のように裁いた伊達巣を追加した牡蠣塩鍋を頂きました。その他を紹介すると、3種類並んだ小鉢セット、刺身はマグロにブリに鮭に蛸、野菜が付いたローストビーフ3枚、レモンとパセリを添えたタラバガニ、唐揚げにしたメヒカリ3尾、茶碗蒸し、アフター鍋にはうどんを添えた腹ごしらえ、最後にグレープフルーツとオレンジのデザートが振る舞われました。アルコールは、まずは乾杯の生ビールそして日本酒・焼酎・ワイン・ハイボールなどを皆がそれぞれにお世話係に注文をして頂いていました。

宴会の話題に聞き耳を立ててみると、嵐さんの乾杯の合図でお酒が酌み交わされた瞬間に、鈴木忍さんが「こんなに早い時間からお酒が飲めるなんて、なんて幸せなんでしょう」と言うと何人かが賛同した。「忍さん今も単身赴任ですか？」との質問に「はい、今年で5年目です。住みやすいいい町で仕事が出

来て幸せです」と言う返事が返ってきた。忍さんはクレハ錦建設関東支店の支店長をしている。300坪ほどの敷地に30台ほどの駐車スペースと100坪ほどの社屋を構え、従業員24名内3名が女性で営業している。クライアントは支店から80kmエリアでスーパーマーケットなどを手がけているようだ。周りの環境は、つくば研究学園都市が整備され公共交通網は、つくばエクスプレスという鉄道が近くを走り、秋葉原まで45分で行ける。高速道路は常磐自動車道の他に、圏央道が近くを走り関東を越えたいときは、首都高速を迂回してアクセスできる。その圏央道沿いに巨大物流倉庫が建築中のようだ。施主はZOZOTOWNの前澤友作社長。月に旅行するとか、総額1億円お年玉プレゼントとか、自宅が100億円の豪邸など話題が尽きない人物。そんな環境で仕事をしているが、食事はもっぱら外食のようだ。行き付けの料理店があり、いつも夕ご飯はお世話になっているので、その店では忍さんのための献立を準備してくれているらしい。本日は2時間飲み放題のコースだがホテルミドリから地酒を準備して頂いた。1合瓶のシールを見ると太平桜酒造といいわきの地酒のようだ。いわきの地酒で有名なのは「四家酒造の又兵衛」だが、改めていわきの地酒が少ないかを感じた。福富さんが「日本酒は好きなん

だが、2杯飲むと心臓がばくばくして苦しくなるから注意している」と言う。「最近は雨が降らない日が続いているね。そろそろ水瓶の水位が相當に下がっているかもね」という言葉を聞いた。夏の水不足は良く耳にするが、冬の水不足は滅多に聞かない。私の個人的な記録によると、1月は26日が雪、12月は12日に少しだけ雨、11月は6日に雨、3ヶ月で3日間降っただけだ。孫がいる世代が増えた話題として、孫のために、インフルエンザ予防接種を11月に済ませて孫をいつでも迎えられる準備をしておくと言った会員が2名いた。年金の話になった。年金制度が確立した時期の平均寿命が50代後半から60代半ば。日本の現実は長寿世界1位で年金制度に誤算が生じたかも。その他の話題として、「大和ハウスが建築業界で一人勝ち」と言う話が出た。その理由は、ロックシステムという制度を確立したかららしい。ロックシステムとは、土地のオーナーに適切な活用方法を提案して有効に利用できるようにする。そのシステムが浸透して沢山の情報が集まり活発に活動ができるようになったらしい。

嵐設計事務所は来年度も勿工建築科から一人採用することになって2年連続の採用となった。社長である嵐さんの後継者としては建築科OB生の遊佐さんが決定している

ようだ。

永山建築設計事務所の設計による現在建築中の大熊町役場は、佐藤敏男さんが設計監理をしているようだ。大手ゼネコンとのジョイント設計らしい。

ノア・アーキテクツ(代表・福富大祐さん)は来年解散することが決定した。

小林建築工房(小林仁さん)は、古民家の改修工事を請け負った。江戸時代の建築物らしい。その当時の構造材は太くて頑丈そうだ。楽しそうに話していたのが印象的だ。いくつまで仕事続けますか?との問い合わせに80歳になってもやってみたいとの返事が返ってきて感動した。

いわき市が炭鉱で栄えていた頃、湯本の義務教育の人口状態は1学年当り1クラス55人8クラスという状況で教室に大勢詰み込まれての授業だったようだ。

NHKの番組「チコちゃんに叱られる」が話題になった。「ボーッと生きてんじゃねえよ」という言葉はNHKらしくないね」「NHKも視聴率を求めてるからね」「チコちゃんの画像は収録後に編集したもの放送してるんでしょう」。何気なく生活している中で1つのことにこだわってみると面白い発見がある番組だ。

まだまだ話題は尽きないが宴だけなわの2時間過ぎて中締めとなった。この日の最長

老5回生の小林仁さんが挨拶をした。「勿来工業高校建築科OB会は永遠に続きます」という挨拶がとても印象的だった。三三七拍子の柏手を打って新年会はお開きとなり13名中のほとんどが植田町の夜の時間の二次会へと移動した。



会長 新年会 挨拶 10回生 千葉良司

2月に入りましたがOB会新年会でございます。明けましておめでとうございます。今日は初午の日でありまして商売繁盛や家内安全などを稻荷神社に参拝して祈願する日であります。暦は明日は節分、あさっては立春と春を告げる言葉が行き交う季節となりました。今月の雪の降る時期を少し我慢すれば暖かな日がやって来ます。国内に目を向けて、昨年は藤井聰太が将棋の世界で話題を独占しました。囲碁の世界では史上最年少の10歳という若さの女の子のプロ棋士誕生が話題を提供しました。中邑董(なかむらすみれ)という漢字には日本人にはあまり馴染まない字であります。そして今年の最近の話題は、大坂なおみが成し遂げた全豪オープン

テニスでのチェコのクビトバを破っての4大会2連覇の優勝と世界ランク1位の獲得であります。21歳という若さの彼女の安定した技術と精神力は圧巻でした。しかし日本を取り巻く環境は決して明るくはありません。韓国が日本企業に賠償金を請求したり、韓国機が日本の自衛艦にレーダー照射したりと、きな臭い状況が続いております。日本の経済は、景気がいいと言いますが、100兆円を超える国債の借金を抱えた、世界第1位の債務国であります。我々が携わっている建築業界の景気の状況を、現役で働いている私から見た感想を述べさせて頂くならば、例えばマンションという建物があります。これは、計画の段階で広告を出し、建設しながら居住者を募って完成時には完売、あるいは完成前に完売となるようあります。これに対して戸建て住宅は、お客様があっての注文住宅が、ここしばらくの主流であります。ところが最近の戸建て住宅を見てみると、着工時には買い手がない。所謂（いわゆる）建売の形式をとるメーカーが多く見受けられるようになりました。1度の建築に5、6棟のミニ開発を行い、建ててから間取りと価格表示の看板を立て供給していく。その物件が完売しないうちに、同じ建設を行う。そんな現場を目にするようになりました。つまり商品を並べておいて、客はその商品を見て気

に入った物を選んで購入する。ユニクロの住宅版のようなイメージを持ちました。昔、マイホームと憧れて胸膨らませて完成させて、仕上がった物を見てみると自分のイメージ通りでは無かった。という声を聞くことがあります。建売は気に入らなければ購入しない。現物を見て選択できるというメリットがあります。工事関係者も客が存在しないうちに工事を進めるわけで、途中の客からのクレームはありません。そんなメリットと債務を抱えるデメリットとがありますがそんな建設が目立ついわき市内であります。そしてまだまだ住宅の供給は続くだろうと感じているところであります。新年会に集まるOB会のメンバーは、そろそろ引退かと思われる年代が多い中、頑張っている姿を見ると自分への励みになります。後輩を育成しながら見守つて頂ければと思います。今後のOB会の行事については事務局長からの連絡を受けながら今年1年活気のある会を邁進していきたいと思います。皆様のご協力あっての会であります。今年もよろしくお願ひいたします。



****No.6 設計コンペ審査会****

平成31年2月16日（土）10：00～12：00

いわき市平労働福祉会館3階和室

福富大祐	7	千葉良司	10	高原典宏	14	四家康正	21
橋本浩喜	25	浦木祐作	33				

朝からの少し強い風と気温の低い日ではありましたが、空は快晴で気持ちのいい日となりました。この日は勿工建築科の3年生が卒業する前に完成させた設計コンペの作品を審査する日です。9時から午前中一杯の時間を使いテーマに従って完成させた作品をOB会の設計コンペ審査委員が集まり審査を行いました。今回は「市民を元気にする建物」の提案（プレゼンテーション）をして2月にマルト中岡店で展示するという条件でした。具体的に植田第2公園の場所を設定し敷地の大きさ形を確定して、提案に必要な図面が要求され、3年間の締めくくりとしてふさわしい作品を完成させるというものです。敷地の大きさは、南北50m、東西60m、4方が道路に面しています。完成させた図面は前日に高原さん（14回生）が学校から借り受け、審査会場に持ち寄りました。審査を始める前に作品集を作るための写真撮影を行いました。撮影係（千葉）、図面設置係（高原、浦木）の3人で42名分の作品をカメラに収め、撮影が終わった作品を会場の床（畳敷き）に並べよいよ審査開始となりました。今年は全ての生徒が手書きで仕上げた作品

となりました。今年で24回目となり、平成7年からの設計コンペは、途中平成15年からJWCADでの作品になり、昨年までCADでの作品でした。それが急な方向変えに審査委員全員の戸惑いの表情が隠せませんでした。時間を使ってじっくり審査していくにしたがって、味のある作品であることを認識し、最優秀賞を選定するのに2つの作品が話し合われ、なかなか決めることができず長い時間を討論して決定した最優秀賞でした。その対象となった二人とは、秋山和也さんの「風情を守る静かな商店」と鈴木瑠美香さんの「淡い」でした。その後優秀賞3名が確定し、佳作と特別賞のどちらに入選させるかという話し合いが長くなかった作品もありました。42名の作品から入選作10点を選出し、審査委員の集合写真を撮影して審査会を終了しました。2月28日の設計コンペ表彰式には、審査委員6名が出席することで予定を確認しました。



*****No.7 入会式・表彰式・昼食会*****

平成31年2月28日（木）12：00～13：00

勿来工業高校 会議室

福富大祐	7	千葉良司	10	高原典宏	14	志賀正敏	20
四家康正	21	浦木祐作	33				

気温の低い朝を迎えて、本格的な雨に見舞われ、お昼の時間帯にも雨は降り続け、この日は1日中雨の日となりました。2月16日に設計コンペ審査を行ったOB会のメンバーは、お昼前に学校の科務室（建築科の職員室）に集合し、応接スペースはOB生達の寛ぎの場となっていました。建築科長が「それではよろしくお願ひします」と言って、私たちはこれから始まる行事の場となる会議室に移動しました。会議室には、3年生が既に席に座り、私たちOB生を迎え入れてくれたようです。会議室には、OB生6名、3年生40名（2名欠席）、教諭（7名）合計53名が集まりました。早速この日の行事を執り行うこととなり段取りを終えて私たちも、準備されたテーブル席へ腰を下ろしました。四家事務局長が進行を努め行事が始まりました。最初に設計コンペの表彰式が行われました。高原副会長が入選者を1名ずつ読み上げ、入選した生徒は私たちの前まで移動し、表彰状と副賞の図書カード・賞状ケース・作品集冊子を受け取りました。特別賞・佳作・優秀賞・最優秀賞の順に10名の表彰式を終えると、高原副会長が入選者ひとり一人に作品の感

想を述べました。次にOB会会長（私：千葉良司）の挨拶となりました。私は副賞として配った冊子の内容についてお話ししました。「会長からのご挨拶は3ページに記載したので読んでください。4ページからは皆さんの卒業設計作品です。審査会時に皆さんの作品を見て、CADでの仕上がりではなく、手書きでの作品ということにとても違和感や抵抗があり審査員全員が悩みました。しかし冊子に皆さんの作品を掲載してみると、カラフルで面白い作品集になっていました。15年間CAD作品として続けてきての今年の手書きの作品でしたが、皆さん全員が線を描き、色を付け表現力豊かな作品となったように思います。42名全員の作品が掲載されています。次のページからは過去3年分の入選作品です。先輩達の作品にも目を通して参考にして頂ければと思います。86ページはOB会についての説明を掲載しました。今回幹事となったお二人については、事務局より連絡を受けたときは、対応してください。87ページからは総会資料を掲載しました。皆さんからお預かりした会費等のお金の流れなどが明確になっています。そして事務局によりを掲載しました。OB会の活動をわかりやすく報告してあります。個人的には私の国家試験の受験体験記録を掲載しました。この冊子を一生の思い出に保存して頂ければ幸

いです。会長からは以上です」。と挨拶をしました。続いて福富前会長の卒業生へ贈る言葉があり、次に卒業して初めて学校へ来て変化に驚いたと言っていた、20回生の志賀正敏さんからご挨拶がありました。志賀さんの印象的だったお話の一部に、「私は高所恐怖症です。建築という仕事がら、それを克服しなければならないと感じている中で、どうすれば良いかを考えました。そして橋の上から飛び降りるバンジージャンプに挑戦して実行しました。今度はシンガポールに行って高さ320mの落差のあるバンジージャンプに挑戦するつもりです。また建築物を勉強するために世界中を見て回っています」。との挨拶がありました。最後に33回生の浦木祐作さんからもお話があり、OB会出席者全員がお話をされました。堅い行事が終わって、OB会が準備したお茶と弁当を参加者全員で頂き、最後に建築科長から御礼のお言葉を頂き無事表彰式・入会式を終えることができました。



勿工建築科OB会への私（会長）の思い

OB会会長職を受け入れて2年が経過しました。貴禄も無く、会長職としてのやるべき事がなんのかも分からずに令和元年度第27会総会を迎えるようとしております。昨年度1年間を通じて、毎日のようにOB会を考えながら過ごして参りました。その表として事務局だよりを作成し私なりの活動の記録と個人的に感じたことを文章として表現して参りました。ここまでではOB会の活動の記録ですが、ここからは、OB会事務局だよりへの個人的な投稿であります。その目的とは、会員が2000名を超え、毎年総会時に40名からの会員様に参加して頂いておりますが、年に1度だけ顔を合わせ事ができる会員様と総会時にお話ができる時間は限られています。私（会長）が宴会の席で隣り合わせて、短い時間で1年分を参加者の皆さんのお話を聞いたり、自分の事を話したりすることは難しいと思います。そこで私はこんなことを考え、こんな生活をしているという一部分を文章に表し、私というものを知って頂き、距離間が縮まればという思いで書いたのがこの後に掲載した記事であります。長い文章ですみませんが読んで頂いて私の願いがかなえれば幸いです。